

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
常陸大宮市	常陸大宮市	平成27年4月1日～令和3年3月31日	平成27年度～令和2年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%	
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成25年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績/目 標※3	
総人口	44,968 人	38,660 人	39,882 人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	9,442 人	11,125 人	11,812 人	106.2%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	21.0%	28.8%	29.60%	110.3%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	8,028 人	6,985 人	7,268 人	104.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	17.9%	18.1%	18.20%	150.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	12,155 人	14,205 人	11,071 人	77.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	27.0%	36.7%	27.80%	8.2%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	15,343 人	6,345 人	9,731 人	153.4%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの						
施設整備に係る計画支援に関するもの	2	浄化槽設置整備事業	常陸大宮市	生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図る。 合併処理浄化槽の整備規模 5人槽：360基 6～7人槽：210基 8～10人槽：30基 合計：600基	平成27年度～令和2年度	平成27年度～令和2年度の6年間で378基の合併処理浄化槽設置を補助した。 【内訳】 5人槽：262基 7人槽：105基 10人槽：11基
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

公共下水道，集落排水施設等については目標を達成しており，汚水衛生処理人口，普及率とともに増加している。

合併処理浄化槽については，目標に対し普及率 75.7%と未達成である。本計画における合併処理浄化槽整備予定基数から見ても，当初整備予定基数 600 基に対し実績は 378 基（当初予定基数の約 63%）と下回っており，単独処理浄化槽及びくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換数が少ないことが目標未達成の原因と考えられる。

しかし，未処理人口については現況の未処理人口 15,433 人に対し実績の未処理人口 9,731 人と 5,612 人と大幅に減少しており，水洗化は着実に進んでいると考えられる。

(都道府県知事の所見)

目標年度において、公共下水道及び集落排水施設等について目標を達成することができ、公共用水域の水質改善に寄与したと考えられる。

一方、汚水衛生未処理人口が未だに 9,731 人いることから、さらなる公共用水域の水質改善に向けて、今後も引き続き生活排水対策に取り組んでいただきたい。